

科目名：コミュニケーション1

対象クラス(専攻)：2学年 観光 学科（国際総合）

単位数：1

担当教員名：小堀美千代

授業形態：講義と演習

教材：伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力

教員の実務経験：

授業内容（実務経験を活かした指導内容）：

相手の話す日本語を聞き取り正確に理解した上で、正しく美しい日本語で、自分の思いや考えを相手にしっかり伝える話し方を身に付けるための練習を繰り返し行う。随時シャドーイングや文章の朗読、スピーチ、ロールプレイングを行い、発音やイントネーション、話すスピード等にも注意を向け、できるだけ自然な発話・会話ができるようにする。最終的には就職活動や就職後のさまざまなビジネス場面でも通用するコミュニケーション能力を養いたいため、そのための題材でさまざまな練習を行うが、それを通して日常生活で出会う日本人との会話をスムーズに行う力をつけることを目指す。

到達目標：

- (1) 人が話す日本語を正確に聞き取ることができる。
- (2) 発音やイントネーション等にも注意しながら、自然な話し方で、自分の考えをしっかりと相手に伝えられるようになる。
- (3) 就職活動や就職後のビジネス場面で困らないコミュニケーション力を身に付ける。

評価方法／基準：

授業への出席率および参加態度、期末試験の結果を総合的に評価する。

その他、注意事項：

授業では、さまざまな活動を行います。積極的に参加し、日本語をたくさん話してください。

関連する主な検定試験：

キーワード：コミュニケーション 会話 シャドーイング ロールプレイング
イントネーション 発音 スピーチ

<授業計画>

第1週	オリエンテーション スピーチ「自分の夢・目標」（二年後、五年後、十年後）
第2週	自己紹介 → スピーチ → 質疑応答
第3週	自己分析（長所・短所・志向など）
第4週	クラスメートにインタビュー → カードを作る / 他己分析・他己紹介「この人は、だれでしょう」（作成したカードを読みあげる）
第5週	自己分析や他己分析を反映させ、自己PRをまとめる → 面接試験を想定し、自己PRをする／質問に答える → ピアティーチング（良い点および問題点を指摘し合い、より良いものにする方法を話し合う） ①
第6週	自己分析や他己分析を反映させ、自己PRをまとめる → 面接試験を想定し、自己PRをする／質問に答える → ピアティーチング（良い点および問題点を指摘し合い、より良いものにする方法を話し合う） ②
第7週	就職活動で勤務条件を読む → 求人票を紹介しあい、メモをとる。 (ペアワーク)
第8週	志望動機をまとめる → 面接試験を想定し、志望動機を話す／質問に答える → ピアティーチング（良い点および問題点を指摘し合い、より良いものにする方法を話し合う） ①
第9週	志望動機をまとめる → 面接試験を想定し、志望動機を話す／質問に答える → ピアティーチング（良い点および問題点を指摘し合い、より良いものにする方法を話し合う） ②
第10週	履歴書や応募書類に関して質問されやすいこと / 面接の受け方
第11週	模擬面接 → ピアティーチング（良い点および問題点を指摘し合い、より良い受け答えができるように話し合う） ①
第12週	模擬面接 → ピアティーチング（良い点および問題点を指摘し合い、より良い受け答えができるように話し合う） ②
第13週	世間話のコツ（同僚と／上司と／先輩と／後輩と）、タブー他
第14週	期末試験
第15週	振り返り